



### 新入職の皆さん、ようこそ第二協立病院へ

平成29年の春が来て、学舎を巣立った皆さんが、第二協立病院に40名入職してくれました。それぞれの分野においてのスペシャリストを目指して、一步を踏みだしたところだと思います。入職時のオリエンテーションで「桜と梅と桃の花の違いが判りますか？」と皆さんにお聞きしましたが、覚えていただいているでしょうか。花びらでいえば、「梅の花は花弁の先がまるく、桃の花はとがっていて、桜の花は先が割れてハート型に見える」ことが違いですが、咲く時期が多少ずれていることから区別することもできると思います。梅や桃は冬の終わりを教えてくれます。桜は春爛漫の季節の到来を告げてくれます。それぞれの花は個性豊かに咲いていますが、皆バラ科の植物で仲間なんです。

「皆さんも、専門とする領域は違っていますが、個性豊かであり続け、第二協立病院の職員として、我が家の家族であることを忘れないでいてください」と、お話をさせていただきました。

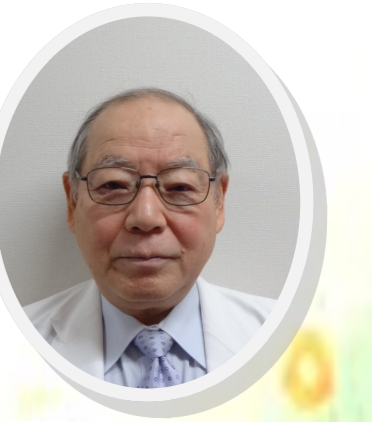
そして、もう一つ、「ブスの25箇条」を紹介させていただきました。これは宝塚歌劇団のロッカールームに張られているようです。どのようにすればブスになれるのかが書かれているもので、25箇条全部マスターできれば完全なブスになれること間違いなしです。一部でも達成できればブスに十分近づくことができるという優れものです。ブスになりたいかなりたくないか、決めるのは自分である。「患者さんの前でブスになっては絶対にならぬ！」と毎日思い続けることも必要なのではないでしょうか。



第二協立病院 院長 福田能啓

### 川西に想う

私は今年から第二協立病院にお世話になっている衣川です。久しぶりで川西に来て大都会になった川西市を見て感無量の感があります。昭和57年、協和会が医療法人となった頃からのおつき合いです。その頃は週一度のアルバイトで脳外科を担当していましたが、木曾会長はじめ創始理事の皆さん勢いはとどまるところ知らず、あっという間に協立温泉病院を開院し、そして昭和63年に吹田の協和会病院を開設するときとうとう入職いたしました。きみまるではないですが、それから約30年かかっての紅顔の美少年（誰も言わないから自分で言う！）のふさふさしていた髪もあらかた抜け落ち、腹回りはハイパーメタボ、どうしてくれると思いつつ雲雀が丘の新緑をぼーっと眺めている今日このごろです。 リハビリテーション科 衣川一彦



### 新任医師紹介 清田 清史 先生

モットーは大学病院で叩き込まれた「無理難題も精神力で乗り越えろ」と「医は忍術」です。長い眼で見て下さいね。



- 平成5年 兵庫医科大学卒業
- 平成7年 公立豊岡病院組合立朝来梁瀬医療センター勤務
- 平成9年～平成11年,平成15年～平成29年3月 医療法人協和会 協立病院勤務
- 平成12年～平成14年 神鋼加古川病院勤務
- 平成29年3月～ 第二協立病院勤務

### 緩和ケア病棟の取り組み

3月に「第二協立病院 緩和ケア病棟について」というテーマで研修会を行い、院内外合わせて33名の方に参加して頂きました。「緩和ケアの知識が得られた」「緩和ケアの奥深さを感じた」等概ね良い評価を頂きました。今回は年度末の開催となってしまう院内の方の参加が少なかったため、次回は時期や内容を検討しています。皆さん参加して下さいね！！



緩和ケア病棟 医師 藤本美樹

2017年3月17日に、第2回災害食訓練を各部署から参加を頂き総勢29名で行いました。今回の訓練は、災害発生時に病棟で患者様へ提供する非常食を準備する場合において、必要な人員、物品、運搬経路などを確認する為に実施しました。災害食準備拠点の設置や備蓄用品の保管場所の再検討など沢山の意見を頂き、有意義な訓練となりました。今後も訓練を重ね、災害に備えていきたいと思えます。 栄養科 中井



### 【編集後記】

今年は、新入職員総勢40名を迎える事となりました。新たなメンバーを加え、職員一丸となって頑張っています。次回には広報誌のネーミングを披露できたらと考えております。今後とも宜しくお願い致します。 地域連携推進委員会 高橋 亮太

## 平成29年度の新入職員総勢40人

各部署に配属となり、先輩について日々業務を行っています。



- ☆看護師：21名
- ☆リハビリ：11名
- ☆MSW：2名
- ☆薬剤科：1名
- ☆臨床工学科：2名
- ☆医事課：3名

### <各部署からのメッセージ>

#### 友金看護部長

桜の咲く春、今年もたくさんの新入職を迎えることができました。夢と希望に満ち溢れた皆さんの眼差しが、輝き続けるように職場環境を整えサポートして行きたいと思っております。

#### 内堀事務長

新入職員の皆さん、入職おめでとうございます。新たな旅立ちの時です。今、この瞬間の感動と輝きをいつまでも忘れずに、私達も皆さんを精一杯サポートしますので、皆さんの夢の実現に向かって頑張ってください。そして第二協立病院にさわやかな新風を吹き込んで下さい。よろしくお祈りいたします。

#### 看護部

21名の新人看護師が第二協立病院に入職してくれました。各部署で頑張っていますので、みなさん宜しくお願いします。

#### リハビリテーション科

亜急性期から維持期まで、どのような疾患であっても適切で質の高いリハビリ支援が出来るセラピストの育成を目指します。

#### 地域連携室

皆様のお役に立つソーシャルワーカーになるため、日々研修中です。宜しくお願いいたします。

#### 薬剤科

知識、技能、態度を総合して、チーム医療に深く貢献できる薬剤師になれる様、共に成長して行きましょう。

#### 臨床工学科

独り立ちの時期かと思いますが公私ともに先輩や同僚、患者様と沢山の話をすることが付きや成長に繋がります。

#### 医事課

ご入職おめでとうございます。新しい環境での、慣れない業務は大変だと思います。失敗を恐れず、絶えず、「前向きな姿勢」で取り組んで下さい。応援しています。

## 第4回日本サルコペニア・悪液質・消耗性疾患

平成29年4月8日（土曜日）に、「第4回サルコペニア・悪液質・消耗性疾患研究会」を神戸・ポートピアホテルで開催させていただきました。「サルコペニア」はまだ新しい概念であるので、初めて耳にする方もあるかと思っております。サルコペニア sarcopeniaは、sarco（筋肉）+penia（減少）の合成語で、サルコペニアは筋肉量減少と筋力低下状態を表しています。高齢化に伴い下肢の筋肉がサルコペニアになり転倒転落しやすくなってきます。高齢者にしばしば発症する大腿骨転子部骨折や大腿骨頸部骨折はサルコペニアが関連していると考えられます。骨折の治療後のリハビリに際しては、サルコペニアの存在を十分認識してプログラムを立てなければなりません。栄養摂取が不十分である時に運動負荷を加えてもサルコペニアは改善しません。かえって、悪化させてしまいます。リハビリをしているというだけの自己満足に終わることが多くなり、期待していたアウトカムが得られず、療法士の皆さんのモチベーションを低下させてしまいます。サルコペニアを改善させるには、つまり筋肉量増加と筋力増強には、レジスタンストレーニングと栄養管理との効率的な組み合わせが必須です。筋肉で蛋白質の合成を促進するには「ロイシン」摂取が有用であることがわかっています。リハビリの運動負荷のどのくらい前に摂取するのが良いのか、運動後すぐに摂取するのが良いのかに関しては、まだ十分研究されていません。とくに、回復期リハ病棟では、サルコペニアの治療を念頭に置いた運動負荷と栄養管理を避けて通ることはできないのではないかと思います。

第二協立病院 院長 福田能啓



初めて参加しましたが、著明な先生方のご講演が続き、興味を引かれるプログラムばかりでした。私のメインイベントは演題発表でした。発表直前にPCトラブルがあったものの、無事に？終わることが出来ました。最後になりましたがこのような機会を与えて頂きました福田院長を初めとした運営スタッフの皆様、誠にありがとうございました。

ST恩田光平

「回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰率と栄養指標」について演題発表を行いました。今回の研究会のテーマであるサルコペニアの原因は、加齢・活動・栄養・疾患と多岐にわたる為、各職種の視点からみたサルコペニア診断や治療について勉強ができ有意義な時間でした。今後NST(栄養サポートチーム)の場で、患者様の病態に応じた栄養管理を行いサルコペニア予防に努めていきたいと考えます。

栄養科 大江緑